

教科でのキャリア教育 国語科 (1)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
6	話すこと・聞くこと 「発見したことを伝えよう」 スピーチの会	・小学校と中学校のちがいで、自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりする。	・わかりやすいスピーチになるように、具体的な話題を選び、声量や間、構成などを考えて発表する。 ・発表者が気持ちよく話せるように聞き、いくつかの観点に従って評価したり感想を書いたりしたものを交流する。				
7	書くこと 「わかりやすく説明しよう」 情報を選ぶ	・わかりやすく伝えるために情報を集め、必要な情報を選択して、自分の考えをまとめる。 ・伝える目的と相手をはっきりさせた表現を意識する。 ・書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にする。	・マッピングの手法を使って情報を集め、整理する。 ・伝える目的や相手を意識して情報を選択し、構成を考える。				
9	書くこと 「手紙を書く」	・手紙の書式を知り、相手や目的に合った手紙を書く。 ・自分の考えや気持ちを的確に表すために、適切な表現を工夫する。 ・書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にする。	・自分を振り返ったり相手の気持ちを考えたりしながら、書く内容を決定する。 ・相手に失礼のないよう、言葉遣いや書式を整える。				
10	話すこと・聞くこと 「話し合って考えよう」	・筋道を立てて、自分の考えを説明したり、話題を捉えて、意見を述べる。 ・意見の特長と問題点を比較しながら、問題解決を図る。	・話題について考え、自分の立場を決定する。 ・グループディスカッションを行い、目的や考慮すべき点に照らし合わせて考えをまとめる。				
12	書くこと 「調べたことを正確に伝えよう」 レポートにまとめる	・身近な生活や学習の中から課題を見付け、材料を集め、課題にふさわしい調べ方を工夫する。 ・自分の考えや気持ちを的確に表すために、適切な材料を選んで、自分の考えをまとめる。	・マッピングの手法を用いて情報を収集・整理し、絞り込んだ課題について調べる。 ・形式を整えてレポートを作成する。 ・発表会を開いてレポートについての意見交換をする。				
2	話すこと・聞くこと 「言葉を探検する」 調べたことを発表する 関連「大仏様はにっこりしていません」「胸の底の人と言葉たち」	・これまで学習してきた「言葉」について研究し、結果をわかりやすく伝える。 ・必要な情報を取捨選択し、まとめ方や、伝え方の表現方法を工夫する。 ・身の回りの「言葉」の特徴を理解し、日常の表現に役立てる。	・グループを作り、調べたいことについて話し合う。 ・研究計画を話し合っ、テーマについて協力して調べる。 ・集めた情報を取捨選択して研究結果をまとめ、役割分担をしてわかりやすく発表する。				
3	書くこと 「体験を伝えあおう」	・伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にする。 ・書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の集め方などについて自分の表現の参考にする。	・自分の体験や成長を振り返って、伝える材料を集める。 ・4つの観点を元に構成を工夫して書く。 ・書いた文章を互いに読み合い、付箋に感想を書いて交流する。 ・書くことを通して、自分の体験の意味を考える。				

教科でのキャリア教育 **国語科 (2)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
5	話すこと・聞くこと 「聞く生活を考えよう」 目的に応じて聞く	・広い範囲から課題を見つけ、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深める。 ・話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりする。 ・話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など、適切な表現の仕方に注意して話したり、聞いたりする。	・友達の意見や考えを尊重して聞き、進んで話し合いに参加している。 ・自分の「聞く生活」について振り返り問題点や要点を整理する。 ・目的や状況に応じて必要な情報を取捨選択しながら聞きとる。				
6	書くこと 「人物紹介パンフレットをつくる」 情報を編集する	・自分の立場および伝えたい事実や事柄を明確にする。 ・文章の形態に応じて、適切な構成を工夫する。 ・作品を互いに評価し合い、論理展開や話題の選択など、自分の表現に生かす。	・互いに相手のよい点や改善点を評価し合い、自分の表現に生かす。 ・収集した情報を自分のテーマに合った情報を選択しパンフレットにまとめる。				
10	話すこと・聞くこと 「提案の仕方を工夫しよう」 プレゼンテーション	・情報や資料を交流し合い、自分の見方や考え方を深める。 ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方に注意して発表する。	・グループでの話し合いに積極的に参加しプレゼンテーションのテーマや方法について具体的に提案する。 ・的確な方法で情報を検索したり必要な情報を選択したりする。				
11	書くこと 「根拠を明らかにして書こう」 意見を伝える	・自分の立場および伝えたい事実や事柄を明確にする。 ・文章の形態に応じて、適切な構成を工夫する。 ・作品を互いに評価し合い、論理展開や話題の選択など、自分の表現に生かす。	・事実を集めたり反論を予想して根拠を明確にし、それらが伝わりやすいように文章の構成を工夫する。 ・友達と読みあってよい点や改善点を話し合う。				
2	書くこと 「視点を変えて書こう」 新たな自分を発見する	・文章の形態に応じて、適切な構成を工夫する。 ・作品を互いに評価し合い、論理展開や話題の選択など、自分の表現に生かす。 ・書く活動を通して、自分を見つめる。	・書くことを通じて自分のものの見方、考え方を深める。 ・互いに読み合い、よい点や改善点を話し合う。				
3	書くこと 「小さな『物語』を探る」 インタビューで取材する 資料の工夫	・広い範囲から課題を見つけ、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深める。 ・話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりする。 ・話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など、適切な表現の仕方に注意して話したり、聞いたりする。	・インタビューを行い、必要な情報を聞きとる。 ・インタビューの相手に応じて適切な取材をする。 ・互いの発表を聞き合い、よい点や改善点を話し合う。				

教科でのキャリア教育 **国語科** (3)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
5	言語 敬語	・日本語の敬語表現の特徴について理解を深め、その使い方を身につけ、相手や目的に応じて言葉を工夫することの大切さに気づく。	・人間関係を円滑に行うために、話す相手や場面によって敬語を使いこなす。				
	相手を意識して伝えよう	・情報を正確に把握し、相手に合わせて情報を再構成し、わかりやすさを意識して話す。 ・声の大きさ、強弱や高低、間の取り方、話す速度などを意識して、相手や場所に応じた話し方をする。	・相手がもっている情報や理解の度合いを考慮して、言葉を言い換えたり補足したりして話す。 ・友達の説明を聞いて、よかったと思う点や改善すべき点を伝え合う。				
6	新聞の特徴を生かして書こう 情報を発信する	・身近な話題について、必要な材料を集め、自分の伝えたい事柄を明確にし、新聞記事の特徴を生かして新聞記事を書く。 ・書いた文章を互いに読み合い、論理の展開のしかたや材料の活用のしかたなどについて自分の表現に役立てる。 ・複数の新聞記事を読み比べ、書き手の意図により論理の展開や表現のしかたに違いが生まれることを理解し、自分の表現に生かす。	・完成した記事を読み合い、よい点や改善点を伝え合い自分の表現に役立てる。 ・身近な話題から題材を選び、伝えたい事実や事柄を具体的に絞って、情報を取捨選択して書いている。				
10	話し合って考えを深めよう パネル・ディスカッション	・日常生活の中での言葉に対する違和感や疑問をもとに、テーマを決め、根拠を明らかにしながら、話の論理的な構成や展開を考えて意見交換を行う。 ・相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める。	・話し合いに積極的に参加することを通して話し合うことの意味や価値がわかる。 ・情報を収集して事実や例や調査結果を根拠に説得力のある意見を述べている。 ・対立する複数の意見を整理しながら聞き、よりよい結論を求める姿勢で話し合いに参加している。				
12	コミュニケーション	・言葉のニュアンスなど細部にも目を向けて正確に伝えたり、相手に配慮したりして、コミュニケーションを大切にします。	・日本語の多義性が解釈でき、どうすればあいまいな点がなくせるか考えている。 ・相手の意図を予想してコミュニケーションする。 ・文末表現やイントネーションによって伝えたい意味の違いを理解する。				
	資料を使いこなす	・資料を調べる方法や引用の方法を知り、自分の表現に役立てる。	・複数の資料をつかって情報を収集する意味を理解する。 ・著作権について理解し、引用するときの注意点を学ぶ。				

教科でのキャリア教育 **社会科** (1)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	世界のすがた	・大陸と海洋の形状や分布を地球儀、世界地図で適切にとらえ名称とともに身につけている。緯度と経度による地球上の位置の表し方、主な国々の位置や国名について理解し、世界の略地図が描けるようにする。	・学年はじめにコミュニケーション能力を、身につけさせるために、地図帳や地球儀を活用して1年生にあった話し合い活動をする。				
5	世界各地の人々の生活と環境	・地域で異なる自然環境の違いを資料・雨温図からとらえ、人々の生活と環境とのかわり、宗教の分布について理解する。	・話し合い活動を通じてコミュニケーション能力を高めようとする。				
	歴史の移り変わりを考えよう	・歴史上の人物や建造物について振り返り、時代の特色や歴史の移り変わりへの興味・関心をもつ。	・調べ学習を中心に、書籍・ネットなど様々な方法を活用し資料解釈の力を身につけさせ、あわせて積極的に取り組む姿勢も養う。				
6	文明のおこりと日本列島	・人類が出現し、世界各地で古代文明や宗教が興ったことを理解する。日本列島に移住してきた人たちの暮らしの変化について考える。	・話し合い活動を深め、文化・文明の誕生について互いの役割を理解し共同して課題を解決する姿勢を身につけさせる。				
	貴族社会の発展	・天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展し、国際的な要素を持った文化が栄え、後に文化の国風化がすすんだことを理解する。	・小グループで写真や映像資料などから文化の特色を見いださせる。				
8	夏休みの課題	・「ふるさと山梨」を参考に、山梨県について課題をつくり、それについてレポートを書く。	・夏休みの宿題として、レポートを出し、調べ方の学習をすとも、様々な方法を活用して表現する力を身につけさせる。				
9	世界の諸地域 1 アジア州	・アジア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につける。	・それぞれの地域における学習テーマを設定し、さまざまな資料を活用しながらそれぞれの地域における基礎的・基本的な知識を身につける。				
	2 ヨーロッパ州	・ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につける。					
	10	3 アフリカ州		・アフリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につける。			
4 北アメリカ州		・北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につける。					
11	5 南アメリカ州	・南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につける。					
	6 オセアニア州	・オセアニア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につける。					
12	世界のさまざまな地域の調査	・学習した地理的事象や日常の生活などの地理的事象に興味・関心を持たせ、設定した課題の解決に向けて問題解決的な調査活動や探求的な学習に取り組む。	・世界の地域学習を生かして課題を設定し、その課題解決のため計画を立て、情報を活用しながら国の特色を明らかにする。				
2	世界の動きと全国統一	・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航を、世界の歴史を背景に理解する。	・室町時代から戦国時代にかけての日本の状況を、話し合い活動やロールプレイを取り入れて考え選択する。				
3	日本のすがた	・日本の国土の位置領域の特色、緯度の違いと人々の生活への影響、標準時と時差、都道府県と都道府県所在地の名称と位置、日本の地域構成の基本的な枠組みについて理解する。	・都道府県バズルを利用し少人数で協力しながら他と競争し合い、都道府県の位置と名称を身につけさせる。				
	世界から見た日本の姿 1 世界から見た日本の自然環境	・世界的視野から日本の地形や気候の特色を理解すると共に日本の自然環境に関する特色を大観する。	・気温と降水量から雨温図にまとめ、気候の特色を読み取らせる。				

教科でのキャリア教育 **社会科 (2)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	2 世界から見た日本の人口	・世界的視野から日本の人口や少子高齢化の課題を理解させると共に、国内の人口分布、過疎・過密問題を取り上げ、日本の人口に関する特色を大観する。	・日本の過疎・過密問題を取り上げ、人口の分布や偏りがもたらす影響について理解し、その解決策について考える。				
	3 世界から見た日本の資源・エネルギー	・世界的視野から日本の資源・エネルギー消費の現状を理解させると共に、国内産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観する。	・職場訪問の経験や職場体験の事前学習を生かして、日本の産業が抱えている問題を考える。				
5	結びつく世界との出会い	・ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について理解する。	・コロンブスはなぜ西へ向かったのか、という課題について小グループで話し合い、当時の地図等を使いながら考える。				
6	天下統一への歩み	・織田・豊臣による全国統一事業や朝鮮への出兵などの対外関係についてとらえ、近世社会の基礎がつけられていったことを理解する。	・信長・秀吉・家康の生き方を比較し、その生き方についての考えを深める。				
8	夏休みの課題	・「ふるさと山梨」や今までの学習した内容についてのレポートを書く。	調べ学習を中心に、書籍・ネット・訪問など、調べ方の学習をするとともに、様々な方法を活用して資料解釈の力を身につかせ				
9	日本の諸地域 1 九州地方	・九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全を産業や地域開発の動向、人々生活などと関連づけて考察する。	・それぞれの地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、その変化に伴う職業や仕事、社会の変化について理解し考える。				
	2 中国・四国地方	・中国・四国地方の地域的特色について、都市と農村の変化を人々の生活や産業などと関連づけて考察する。					
10	3 近畿地方	・近畿地方の地域的特色を産業や文化の歴史的背景や開発の歴史に着目して、それを他地域との結びつきなどと関連づけて考察する。					
	4 中部地方	・中部地方の地域的特色について、東海、中央高地、北陸の各地域の違いを、各地域の自然的条件と社会的条件の両面から考察してとらえる。					
	5 関東地方	・関東地方の地域的特色について、東京に日本を動かす中枢機能が集中していることに着目して、日本各地や世界との結びつきをとらえる。					
11	6 東北地方	・東北地方の地域的特色を、伝統的な生活や文化を通して、その自然環境や歴史的背景、他地域との交流などから多面的に考察する。					
	7 北海道地方	・北海道地方の地域的特色を、自然環境の特色と関連づけてとらえる。					
12	身近な地域の調査	・縮尺、方位、等高線、地図記号などの地図の約束について知る。身近な地域を通して調べる方法を身につけ、グループで協力し課題を解決する。	・地形図から地域の特色を見だし、その理由をグループで予想し、協力しながら聞き取り調査をすることで身近な地域を調べる方法を身につける。				
1	開国と幕府政治の終わり	・社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治が行き詰まりを見せたことを理解し、幕末の開国とその政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。	・財政危機を解決する方法を多くの資料を適切に活用し、自分の考えを深める。				
2	明治維新と立憲国家への歩み	・明治維新の経過のあらましを、世界の動きを背景に理解するとともに、近代国家の基礎が整えられたことに気づく。	・幕末に活躍した人物の生き方を通して、どうあるべきであったか意見交換を行い、話し合い活動を深める。				
3	激動する東アジアと日清・日露戦争	・急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上と大陸との関係を、当時の国際状況を背景に理解する。	・急速に近代化を進め、国際的な地位を向上させた陰にひそむ負の部分について資料に基づいて多面的に考える。				

教科でのキャリア教育 **社会科 (3)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
5	大正デモクラシー	・政党政治の確立や民主主義思想の普及、社会運動の高まりについてとらえ、大正時代に国民の政治的自覚が高まり、文化の大衆化も進んだことを理解する。	・二度の世界大戦を通して、戦争を回避するには、どうすればよかったか根拠を持って説明し、自分のあるべき道を考え選択する。				
	恐慌から戦争へ	・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の経済の混乱と社会問題の発生、軍部の台頭から戦争までの経過を世界の動きと関連させて理解する。					
	第二次世界大戦と日本の敗戦	・第二次世界大戦開戦から終結までの欧米諸国や日本の政治・外交の動き、戦時下の国民生活についてとらえ、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。					
6	世界の多極化と日本	・ベトナム戦争や中東戦争などの世界の動きを背景に、日本の高度経済成長が石油危機により終焉するまでの過程について、安保改定・沖縄返還・日中国交正常化などの国際社会との関わりの中でとらえ、日本の経済や科学技術が急速に発展し、国民生活が向上したことを理解する。	・産業や経済の急激な変化に伴う職業の変化を理解し、さまざまな職業の社会的意義や役割について確認する。				
	冷戦の終結とこれからの日本	・冷戦終結後の変動する世界と日本の動きについてとらえ、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことに気づき、これからどのように社会とかわればいいのか考える。	・自分の夢や職業と結びつけて日本の将来を考える。				
7	現代社会とわたしたちの生活	・グローバル化、情報化、少子高齢化などの現代日本の特色が政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気づく。	・様々な写真や統計資料などから現代日本の特色や社会の変容を読み取り、情報交換を行い、話し合い活動を進める。				
	わたしたちの生活と文化	・日本の伝統と文化の特色について、その歴史的背景や地域的多様性も含めて理解する。	・日本の伝統と文化の特色を示す資料を収集、選択し、文化の継承と創造について、自らの考えを表現する。				
	現代社会の見方や考え方	・身近な社会集団を通じて、社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、対立と合意、効率と公正などについて、社会の形成者としての立場から理解する。	・身近な事例を通して、対立と合意、効率と公正などが、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎となっていることを話し合い活動等を通して理解する。				
9	人権と共生社会	・自由権、平等権、社会権、人権保障新しい人権、国際社会と人権について事例を挙げて理解する。	・身近な判例等を利用して、検証しながらその是非を問い、自分なりの意見を決定する。				
	これからの人権保障	・社会の変化とともに人権概念が変化していること、人権上の課題について理解する。	・社会の変化に伴って人権概念が変化していることやその課題について、ディベートを通して考えとともに社会の形成者として民主的な社会生活を作り上げようとする態度を身につける。				
10	国の政治の仕組み	・議会制民主主義、国会、内閣、裁判所、三権の抑制と均衡について、それぞれの役割と課題を理解する。	・三権の抑制についてそれぞれの役割を理解するために、権力が集中するとどのようなことが起こるのかを意見交換する。				
11	地方の政治と自治	・地方自治、地方分権について、身近な地域の自治と結びつけて理解する。	・昭和町の仕組みや、財政状況を調査し、地方自治体の抱える課題について意見交換する中で理解する。				
	くらしと経済	・消費と貯蓄、消費者の権利、流通の仕組みについて理解する。	・消費者主権の立場について、共通理解をし、実際の場面を想定させ、課題を解決する方法を身につける。				
	生産と労働	・家計と企業の関連に着目させ、企業の生産活動のしくみと働きに関心を持たせる。また、職業や労働は自己実現や、社会への貢献と言った意義があることに気づく。	・職場体験などの具体的な経験や事例をもとに職業、労働について話し合い、職業や労働の意義について考える。				
12	価格の動きと金融	・市場経済の仕組み、市場と価格、金融のはたらき、労働者の生活向上について理解する。	・市場経済の意味を理解し、私たちの生活にどのように影響しているのか理解する。金融のはたらきを理解し、将来の金融プランを考えさせる。				
	国民生活と福祉	・租税、財政のはたらき、社会保障と国民の福祉、公害の防止と環境保全、日本経済の課題について理解する。	・働くことによって得られる収入から税金が納められることを理解し、それがどのように使われるべきか、財政の課題について話し合う。				
1	国際社会と地球平和	・地域主義、地域紛争と民族問題、主権国家と国際社会、国際連合のしくみとはたらき、よりよい世界のために何をすべきか考える。	・私たちが国際社会で生きていく上での問題点を改めて確認し、今後の生き方に反映させる。				
2・3	国際社会とわたしたち	・資源・エネルギー問題、地球環境問題、人口、食糧問題について考える。	・グローバルな立場に立ち、環境問題について調査し、課題を解決するにはどういう手段があるのか意見を交換する。				
	よりよい社会をめざして	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし、自分の考えをレポートにまとめる。	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし、様々な資料を活用して探求し、自分の考えをレポートにまとめる。				

教科でのキャリア教育 **数学科 (1)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
6	正負の数の利用	・正負の数を利用して、身の回りの問題を考える。 ・時差の問題を取り上げ、2つの都市の時差を計算し、正負の数のよさに気付く。また、社会科の学習との関連も図る。	・1学年初期の段階で、話し合いの中から、数学的要素を見つける。				
7	文字を使った式	・文字式を使って表すことの有効性を意識づける。また、マッチ棒や図を利用して、規則性を発見し、説明する。 ・いまままで学習した計算の方法を実際の場面で活用し考察していく問題に取り組む。	・課題を仲間と共同で解決し、グループ発表する。				
8・9	方程式の利用	・方程式のよさを感じ、文章題の題意にあった方程式をつくる。 ・問題づくりを通して数学的な考察力をつける。 ・日常生活の事象から条件を読み取り、数学的な見方でとらえ、式として表現する。 ・表現した式を処理し、解決する。	・必要な情報を精選し、構築して課題を解決する。				
10・11	比例と反比例の利用	・比例・反比例の関係を見つめ、関数の考え方の良さを理解する。	・獲得した情報を構築して課題を解決する。				
1・2	図形の面積や体積	・おうぎ形や立体の求積を工夫して行い、求め方を的確に説明する。	・グループで図形の性質について、話し合いながら、探求する学習方法を身につける。				
2・3	資料の散らばりと代表値	・目的に応じて資料をいろいろな観点から整理し、それに基づいて自分の考えをまとめ、説明する。	・必要な情報を精選し、構築して課題を解決する。				

教科でのキャリア教育 **数学科 (2)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
5	文字式の利用	・連続する3つの整数の和を調べる活動を通して、整数の性質や関係を文字を使った式で表現する。	・課題を仲間と共同で解決し、発表する。				
6・7	連立方程式の利用	・身の回りの事象に関する問題が連立方程式を使うと解決できることに関心を持ち、問題を解決する。	・必要な情報を精選し、構築して課題を解決する。				
7～9	1次関数の利用	・小包の重さと料金の関係、線香が燃えるときの時間と線香の残りの長さなど、ともなって変わる2つの数量の関係に関心を持ち、その特徴を調べる。	・獲得した情報を構築して課題を解決する。				
10・11	図形の論証	・三角形の合同条件の有効性を知り、合同条件を使った証明に関心を持ち、それを用いて理論的に推論を進める。 ・筋道をたてて説明する。	・論理的な手法で課題を解決する。				
12～2	図形の性質	・直角三角形の合同条件を使って図形の性質を証明する。 ・いろいろな四角形の相互関係を考える。特別な四角形として長方形、ひし形、正方形を捉える。	・グループで図形の性質について、話し合いながら、探求する学習方法を身につける。				
3	確率	・ある事からの起こりやすさを数値化することを通して、統計的な確率と、数学的な確率の意味を知ることができる。	・情報を調査・収集・整理し活用する楽しさに気づく。				

教科でのキャリア教育 数学科 (3)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
6	因数分解の利用	・因数分解の考えを使って、式の計算をする。 ・周囲の長さが一定の長方形で、面積が最大の長方形を考える活動を通して、数や図形の性質の証明に式の計算を利用することに興味を持ち、その利用のしかたを考える。	・課題を仲間と共同で解決し、グループ発表する。				
8～9	2次方程式の解き方 2次方程式の利用	・連続する2つの整数のそれぞれの2乗の和、花壇の周りに同じ幅の道を作るなど、条件を満たしながら2次方程式とその解の求め方に関心を持つ。	・必要な情報を精選し、構築して課題を解決する。				
10	関数 $y = ax^2$ の利用	・具体的な事象の中から2乗に比例する関数を見出し、式に表わす。 ・斜面にボールを転がし始めてからの時間とボールが転がった距離との関係を考える活動を通して、1, 2年で学習した関数と異なる関数に関心を持つ。	獲得した情報を構築して課題を解決する。				
11・12	相似な図形の利用	・相似の考えを用いると直接測定できない距離や高さなどを計算で求めることができ、相似の有効性を理解する。	・論理的な手法で課題を解決する。				
12・1	三平方の定理の利用	・長方形の対角線の長さを求めるとき、直角三角形を見出ししたり、作ったりすることによって、三平方の定理を利用する。 ・直方体の対角線の長さを求めるとき、三平方の定理を用いて、空間図形の計量を工夫する。	・グループで図形の性質について、話し合いながら、探求する学習方法を身につける。				
1・2	標本調査	・母集団から標本を取り出し、調べることで、母集団の傾向を予測する。	・必要な情報を精選し、構築して課題を解決する。				

教科でのキャリア教育 **理科** (1)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
6	身のまわりの現象	・光に関する実験を通して、光の規則性について学ぶ。	・光の屈折や凸レンズの実験から、ものはどのように見えるかを説明することができる。				
10	身のまわりの物質	・物質が水に溶ける様子の観察を行い、水溶液の中では溶質が均一に分散していることを見だし、それを粒子のモデルと関連付けて学習する。	・物質が水に溶けるとはどうか、水に溶ける様子と溶けた後のようすを粒子のモデルを使って説明できるように、話し合いを行う。				
1	大地の変化	・地震に伴う大地の変化の様子を学習する。	・過去に起こった地震の資料を使って、地震に関する現象について学習を深める。				

教科でのキャリア教育 **理科** (2)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	動物の世界	・動物の体のつくりと働きを学習する。	・ヒトの体のしくみを学ぶことで、自己理解を深める。				
6	電流	・電流回路についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解する。	・電圧、電力の基礎知識をもとに、電化製品の消費電力表示、電気料金の請求書を読み取る。				
10	化学変化と原子・分子	・化学変化についての観察、実験を通して、化学変化における物質の変化や量的な関係について理解し、これらの現象を原子・分子のモデルと関連付けて学習する。	・物質が化学変化する前と後の様子を、原子モデルを使って説明できるようグループで話し合う。				
1	天気とその変化	・身近な気象の観察、観測を通して気象要素と天気の変化の関係を見だし、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性について学ぶ。	・天気の基本知識をもとに、天気図から明日の天気を予想する。				

教科でのキャリア教育 **理科** (3)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	生物の細胞とふえ方	・体細胞分裂の観察を行い、その過程を確かめるとともに、細胞の分裂と生物の成長との関係を学ぶ。	・生物が成長するということは、細胞がどのように変化していくことか話し合い、発表する。				
10	エネルギー	・水溶液の電気伝導性について理解し、これらの現象をイオンのモデルと関連付けて学習する。 ・エネルギー問題をふまえ、太陽電池の利用について考える。	・水溶液に電流が流れるときのようすをモデルと関連づけて考察し、話し合い、発表する。 ・太陽光発電の開発に携わる専門家の話を聞き、自己の進路選択に生かす。				
12	科学技術と人間	・科学技術の発展と人間生活との関係について学び、これからの自分の関わり方について考える。	・将来の職業生活との関連の中で、今の学習(科学技術の進歩)の必要性や大切さを理解する。 ・科学技術の進歩や日本の高い技術力について知り、将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。				
2	自然と人間	・自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて学習する。	・自然と人間とのかかわりについて、課題を出し合い、解決策を考える。				

教科でのキャリア教育 **音楽科 (1)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	イメージをふくらませて聴こう	・ソネットをもとに、曲の雰囲気を感じ取って聴く能力を育てる。	・曲のイメージをお互いに話し合う中でコミュニケーション能力を高める。				
6	和太鼓のリズムをつくって楽しもう	・日本人の生活や心情を映した郷土の音楽に親しみ、和太鼓のリズムを創作し、表現する。	・いろいろなリズムの中から、話し合って選択し、班で一つのリズムパターンを作って発表していく中で、コミュニケーション能力、意志決定能力を高めさせる。				
10	混声合唱の響きを感じて歌おう	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	・楽譜から情報を得て、協力しながら曲想を仕上げていく中で、コミュニケーションの力を高めさせる。また、仲間の意見をまとめ、選択して発表することで意志決定能力も高めることができるようにする。				

教科でのキャリア教育 **音楽科 (2)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
5	速度や強弱の変化を生かした表現の工夫	・曲の魅力を支えている速度や強弱の働きを感じ取り、それらを生かして表現を工夫する。	・曲の速度や強弱を感じ取って、表現を工夫していく中で、コミュニケーション能力を高めさせる。				
10	混声合唱の響きを感じて歌おう	・調や速度、強弱などの音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す歌の味わいや歌詞との関連を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫する。	・楽譜から情報を得て、協力しながら曲想を仕上げていく中で、コミュニケーションの力を高められる。また、仲間の意見をまとめ、選択して発表することで意志決定能力も高めることができるようにする。				
2	箏にふさわしい表現を味わって演奏しよう。	・箏の二重奏を楽しむ中で、音色を工夫しながら演奏する。	・仲間の音色と合わせる中で、コミュニケーション能力を高めさせる。				

教科でのキャリア教育 **音楽科 (3)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
6	名曲の鑑賞とプレゼンテーション	・音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさを言葉で表してコミュニケーションをとる。	・楽曲のイメージを話し合う中で、音楽の諸要素に気づき、それを表現に活かしていく。コミュニケーション能力、意志決定能力を養おう。				
10	混声合唱の響きを感じて歌おう	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	・楽譜から情報を得て、協力しながら曲想を仕上げていく中で、コミュニケーションの力を高める。また、仲間の意見をまとめ、選択して発表することで意志決定能力も高めるようにする。				
2	日本の楽器で創作しよう	・箏の様々な奏法を用いて自由に表現するとともに、イメージを膨らませて、箏の音色、奏法、音階の特徴を生かし、まとまりのある音楽をつくって演奏する。	・仲間とともに一つの曲を創って、発表する中で、コミュニケーション能力、意志決定能力が高められるようにする。				

教科でのキャリア教育 **美術科** (1)年

月	題材(テーマ)	学 習 内 容	備 考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4・5	色彩学習	・色彩の基礎を学習する。	・色についての基本的な知識を習得し、今後の学習につなげる基礎とする。				
6～8	果物を描く	・初めて使う水彩色鉛筆を通じて、色彩の美しさに親しむ。	・水彩色鉛筆の持つ発色の美しさを生かし、美術への苦手意識のある生徒の積極性を養う。				
9	色面構成	・色彩の性質や感情への影響について理解し、効果を工夫して用い制作する。	・色が感情へ与える効果、補色の関係などを学びつつ、マスキングテープなどの道具の扱いも同時に学ぶ。				
10		・彩色の基本的な知識と技法について理解を深め、平面構成の制作を通し技能を身につける。					
11	文字デザイン	・楽しい文字、美しい文字をデザインする。	・色面構成の基礎を生かし、それぞれに違った名前をデザインし、お互いの違いを認め合いつつも新しい発見をし、相互理解とデザインを学ぶ。				
12		・伝えたい内容や使う場面・場所などを考え、目的に応じて形や色、技法を工夫する。					
1	立体に表す楽しみ	・自然の素材に触れ、形や色、感触を味わう。	・自然の素材から何を作り出せるのか、自分で考え工夫し視覚だけでなく触覚も使い作品を作り、季節感や立体的造形について学ぶ。				
2		・素材を生かしたデザインを考える。					
3		・生活を豊かに演出できるように、機能性や装飾性のデザイン的な効果を考えながら制作する。					

教科でのキャリア教育 **美術科 (2)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	鑑賞	・日本的な自然観やテーマ設定, 装飾性豊かな造形美, 作品にこめられた作者の思いを探る。	・学年はじめに当たり今年度の予定の確認と積極的姿勢に取り組む姿勢を身につけさせる。				
5	絵文字	・自分自身のことや考えからテーマを決め, 実験や思いを表現する。	・学習を通して様々な表現方法を学び, 実際に表現に結び付けようとする姿勢を身につけさせる。				
6・7		・身の回りにある事象を見直し, 柔軟に活用しながら幅広い表現に挑戦する。					
8	ポスター	・生活の中で情報の伝達という役割を担っているポスターデザインについて考え, 生活の中でのデザインの必要性や役割を知る。	・資料を使って様々な表現方法を学び, 実際に表現に結び付けようとする姿勢を身につけさせる。				
9～12	息づく空間(単位形)	・美の秩序の基本を学び, ひとつの単位をきめ, その組み立てにより違う広がり表現する。	・美の秩序の基本的な要素を学び, 実際に表現に結び付けようとする姿勢を身につけさせる。				
1～3	鑑賞 仏教美術と世界	・仏教美術の歴史や伝統について関心を高め基礎的な理解を得る。	・調べ学習を中心に様々な方法で資料を活用し, 課題を解決する姿勢を身につけさせる。				
		・社会的背景や他国の影響等を考えながら 時代ごとの日本の美術の特色や魅力を味わう。					

教科でのキャリア教育 **美術科 (3)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	鑑賞	・美術の持つ社会的な役割や意義について理解を深める。	・学年はじめに当たり今年度の予定の確認と積極的姿勢に取り組む姿勢を身につけさせる。				
5～8	てん刻	・美しい文字や絵柄を考えてデザインし, 自分だけのハンコをつくる。	・美しい文字や絵柄を考えてデザインし, 自分だけのハンコをつくることでオリジナリティの追及をはかる。				
10～12	ペン立てづくり(版画の技法を使って)	・イメージにあった材料や技法, 表現方法を工夫し構成する。	・学習を通して様々な版画の表現方法を学び, 実際に表現に結び付けようとする姿勢を身につけさせる。				
1～3	鉛筆デッサン	・鉛筆デッサンの基本を学び, 線の向きや鉛筆の濃淡の基本を学ぶ。	・学習を通して様々な素描による表現方法を学び, 実際に表現に結び付けようとする姿勢を身につけさせる。				

教科でのキャリア教育 **保健体育科 (1)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	体づくり運動 行動体力を科学しよう。	・動きの構造と体力の関わりを学習する。 ・目的に応じた動きづくりをする。	・体の発育、発達に伴い体力向上を目指す。				
6	陸上競技 より速く、遠く、高く、自分の能力に挑戦しよう。	・種目ごとの練習内容と学習方法を理解する。 ・基本的な動きの要領を理解する。 ・個人カード、自己評価の活用の仕方を理解する。	・基本的なルールを学ぶ。 ・仲間同士でアドバイスをしたり、記録を計り交流を深める。				
9	ダンス 日本の伝統文化に触れ親しもう。	・リズムによって自由からだを動かして踊る。	・体で表現することが楽しさにつながることに気づく。				
10	球技1 用具を使って仲間と楽しくゲームをしよう。	・試合をとおして、個人および集団の課題を見つけ、練習を行う。 ・個人的技能、集団的技能の基本動作を身につける。 ・個人カードの活用の仕方を理解する。	・基本的なルールを知り、集団スポーツで仲間と協力したり、作戦を立てて勝つことの喜びを味わう。				
2	球技2 用具を使って仲間と楽しくゲームをしよう。	・試合をとおして、個人および集団の課題を見つけ、練習を行う。 ・個人的技能、集団的技能の基本動作を身につける。 ・個人カードの活用の仕方を理解する。					

教科でのキャリア教育 **保健体育科 (2)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	体づくり運動 行動体力を科学しよう。	・目的に応じた動きを確認する。 ・自己の課題に応じた動きづくりをして発表をする。 ・目的に応じた動きを確認する。	・体力テストを参考にし、自分の課題を発見して自分にあった体力づくりプログラムを作成してみる。				
6	陸上競技 より速く、遠く、高く、自分の能力に挑戦しよう。	・自分にあった種目を選択し、課題を見つけ、計画を立てて実践する。 ・グループノート、相互評価の活用の仕方を理解する。 ・<領域内選択でグループ学習>	・1年時に行った以外の種目にも挑戦してみる。その中で更に学習を深めたい種目を研究したり仲間と教え合う。				
7	器械運動 技の達成や出来栄を楽しもう。	・できる技の精度を高める。 ・新しい技に挑戦し工夫する。 ・個々の技のつなぎを工夫し、スムースに連続技を行う。	・できる技をつなぎ合わせて連続技を作り発表する。				
10	球技1 用具を使って仲間と楽しくゲームをしよう。	・個人的技能、集団的スキルを高め、相手に応じた作戦を立てて、攻防の練習を行う。 ・グループノート、相互評価の活用の仕方を理解する。 ・<領域内選択でグループ学習>	・1年時に行った種目を更に楽しむためにプロや高校、大学生の動きをDVDなどで視聴して研究する。 ・作戦を立てたり課題を追究しゲームを楽しむことで仲間との交流を深める。				
2	球技2 用具を使って仲間と楽しくゲームをしよう。	・個人的技能、集団的スキルを高め、相手に応じた作戦を立てて、攻防の練習を行う。 ・グループノート、相互評価の活用の仕方を理解する。 ・<領域内選択でグループ学習>					

教科でのキャリア教育 **保健体育科 (3)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	体づくり運動 行動体力を科学しよう。	・自己の体力に応じた動きを活用する。 ・生活やスポーツの場面で動きを活用する。	・健康を保つために自分の体力を知り、自分の体を守っていくことが大切だということを知る。				
6	陸上競技 より速く、遠く、高く、自分の能力に挑戦しよう。	・得意な種目を選択し、自分の能力に応じて、課題設定を行う。 ・練習計画を工夫し、記録向上を目指す。 ・役割を分担して、競技会を運営する。 ・仲間同士、適切なアドバイスをを行う。 ・仲間同士、適切なアドバイスをを行う。 ・領域外選択でグループ学習	・1、2年で学習した内容を更に深め、課題解決のために仲間と協力し、取り組み方を工夫する。				
7	武道 日本の伝統スポーツに触れ親しもう。	・基本動作や対人的技能を高め、相手の動きに対応した作戦を工夫し、練習を行う。	・伝統スポーツについて理解を深める。自分の興味ある武道について学習を深める。				
10	球技 用具を使って仲間と楽しくゲームをしよう。	・集団技能を高め、相手の動きに対応した作戦を考え、攻防の練習を行う。 ・仲間同士、適切なアドバイスをを行う。 ・領域内選択でグループ学習	・仲間と作戦を立てたり、連係した動きを研究し、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味あわせる。 ・様々な球技を通して、生涯スポーツに親しむ心を育てる。				
2	球技 用具を使って仲間と楽しくゲームをしよう。	・集団技能を高め、いろいろな相手に対応した作戦を考え、攻防の練習を行う。 ・仲間同士、適切なアドバイスをを行う。 ・領域内選択でグループ学習					

教科でのキャリア教育 **保健体育科 (1～3)年**

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4～12	心身の機能の発達と心の健康	・思春期に伴い、身体の各器官が発育し、様々な機能が発達する時期であることを理解する。 ・心の健康を保つために身体と精神機能の関係や働きが関係あることを理解する。	・基礎的な事項を理解させる。 ・課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し理解を深める。				
9～12	健康と環境	・身体には、適応能力があることを理解し、周りの環境と健康が密接であることを理解する。 ・生活の見直しから、環境保全に十分配慮できるようにする。	・基礎的な事項を理解させる。 ・課題の解決を目指して、話し合いや意見交換などの学習活動を取り組ませる。				
通年	傷害の防止 健康な生活と疾病の予防	・交通事故や自然災害などによる傷害の発生原因や防止方法などを理解する。 ・健康な生活を送るために、主体や環境の関係や健康を損なう疾病の予防について理解する。	・傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について理解を深める。 ・学習したことを自分たちの生活や事例などと比較し、関係を見出し理解を深める。				

教科でのキャリア教育 **技術科** (1)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	物づくりについて 設計・製図の方法	・いろいろな材料を調べて、どのような工業製品ができているのか調べる。製図の種類、製図の方法。	・情報を収集し、整理して理解しやすく表現する。				
5	製図の練習 本設計について 道具の使い方 (さしがね)	・キャビネット図や等角図の練習 ・本棚の設計					
6	道具の使い方 (のこぎり、ベルトサンダー)	・さしがね、のこぎり、ベルトサンダーなどの使い方を学ぶ。	・工具の仕組みを理解しながら効果的に加工ができるように課題に取り組み解決できるようにする。				
7	道具の使い方 (かんな)	・かんなの使い方(小口小端削り)	・かんな切削の仕組みを理解し仕上がりがり寸法まで加工する。				
9	道具の使い方 (かんな、げん のう) 組み立ての方法	・かんなの使い方(小口小端削り) ・どのような組立が力に対して強い構造か					

教科でのキャリア教育 **技術科** (2)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
10	情報を活用して生活に生かす コンピュータの仕組みと基本操作	・情報とは何か、情報を活用していく上でコンピュータはどのような関わりをしているか、考えながら学習を進める。 ・コンピュータやソフトウェアの機能を知り基本操作ができるようにする。	・情報とは何かについてよく考え、整理して理解する。 ・ソフトウェア機能・操作について知る。				
11	コンピュータの仕組みと基本操作	・コンピュータやソフトウェアの機能を知り基本操作ができるようにする。	・コンピュータを構成する主要な装置と情報処理の仕組みをコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法を理解する。				
12	コンピュータの仕組みと基本操作 ネットワークとインターネットについて 情報モラルについて	・コンピュータやソフトウェアの機能を知り基本操作ができるようにする。 ・ネットワーク・インターネットのしくみ、電子メールの送受信情報モラル(著作権、個人情報保護法、肖像権)	・情報通信ネットワークの構成と安全に情報を利用するために基本的な仕組みについて理解する。 ・グループワークで情報モラルについて考えさせる。				
1	エネルギー変換とその利用 身のまわりのエネルギーについて 電気エネルギーの利用	・電気エネルギーを光・熱・動力に変えるしくみの実験を行う	・社会で利用されている機器等について、エネルギーがどのように変換・制御され、利用されているかを理解する。				
2	エネルギー変換を通じた物づくり	・エネルギー変換を通じた物づくり ・ダイナモライトの製作	・エネルギー変換に関する技術を利用した製作品を通して組み立て・調整、配線・点検をする。				
3	電気機器の安全な利用について 電気機器の修理について	・火災や故障となる電気機器の誤った使い方を知り、安全な使い方を知る。安全装置の働きを知る。コードの端末処理と電源プラグとの安全な接続	・機器がその目的を達成するために、どのような構造や回路で作られ、どのように動いているか理解する。				

教科でのキャリア教育 **技術科** (3)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
5	内燃機関のしくみ 4サイクルエンジンについて	・エンジンのシリンダーに見立てた茶筒にガソリンを入れ、100ボルト電源をショートさせて点火する。高く打ち上げる方法をグループで検討する。	・エネルギー変換に関する技術を学び、社会や環境に果たしている役割と影響についてグループで考え理解する。				
6	私たちの生活とマルチメディア	・これまでのコンピュータやネットワークの学習の確認。情報社会のマルチメディア利用の確認	・メディアの特徴と利用方法や適切なソフトを選択し、多様なメディアを複合する方法を知る。				
7	マルチメディアの特徴	・マルチメディアの構成を調べる マルチメディアで使用されるファイルを調べる	・目的や条件に応じてデジタル作品において利用するメディアの種類やデジタル化の方法を理解する。				
9～11	マルチメディアの活用	・プレゼンテーションソフトの使用。修学旅行記の作成。	・多様なメディアを複合して表現や発信ができるようにする。				
12	物づくりについて 鋳造の学習	・低融合金を使って鋳造の学習を行う。キーホルダーを作成する	・鋳造のしくみ・方法について知る。 作業計画について理解する。				
1～2			・工具の仕組みを理解しながら効果的に加工ができるように課題に取り組み解決できるようにする。				

教科でのキャリア教育 家庭科 (1)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	健康的に食べる これからのわたしたちと食生活	・食べることの意味や役割を知る。	・食事の仕方によって健康に与える影響を様々な資料を活用することで重要性を理解する。				
5	栄養素と健康	・栄養素の種類とその働きを知る。	・栄養素の種類や働きについて多くの情報を収集し、自分の生活に生かし食生活を豊かにすることができる。				
6	生鮮食品について	・肉、野菜、魚などの生鮮食品の特徴を知り、調理の習得する。	・多くの生鮮食品の中から食品を選択し生活に活用していく能力を身につける。				
7	調理計画	・肉や野菜、魚を使った調理実習を行い、調理の技術を身につける。	・既存の学習を活用し、グループで互いの役割を自覚し、分担して多くの献立を作ることができる。				
8・9	食生活を見直す	・今までの学習をもとに、自分の食生活を見直す。	・今までの学習をもとに、創意工夫しながら発表できる。				

教科でのキャリア教育 家庭科 (2)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
10	住まいの働き	・住まいの空間について考える。	・家族との生活の中で自分と家族の関係を理解し、住まいの空間について話し合うことができる。				
11	室内環境を考える	・室内の空気調節の機能や自然を上手に使う工夫などの室内環境について考える。	・室内環境を整えるために多くの情報を収集し、快適に過ごすための手段を理解する。				
12	衣服の選択と手入れ	・衣服の計画的な活用と素材に応じた日常着の手入れができる。	・衣服の素材に応じた手入れの仕方を考えるために調べ学習をし、情報収集することで理解する。				
1～3	簡単な衣服の製作	・衣服の成り立ちを考えながら手順や方法を理解し自分なりの衣服の製作をする。	・簡単な衣服の製作をすることで他者とのコミュニケーションを取ることができる。また、様々な情報を活用することで製作がスムーズに進められる。				

教科でのキャリア教育 **家庭科** (3)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	商品の購入と選択	・商品の流通について関心を持つ。販売方法や支払い方法について理解する。	・様々な情報を収集し、販売の方法や、社会のシステムを知る。				
5	いろいろなトラブルの解決方法を知る	・消費生活の問題点を見つけ、収集・整理した情報を活用して生活をよりよくする方法を考える。	・商品を購入する際の問題点やトラブルの解決方法を情報収集し、生活の中に活用していく。				
6	環境に配慮した生活ができる	・環境への影響を考えて暮らし方を見直す。	・環境を配慮した生活をするために様々な情報を収集する能力を身につけさせる。				
7	家庭の働きについて考える	・家庭や家族の機能、重要性について考える。	・家庭や家族のはたらきを考えるために、ロールプレイングをし、自分や他人を理解し、さらに将来の生活に結び付けていくことを理解する。				
8	家庭と地域	・地域とのつながりを考え、地域の一員であることの自覚を持つ。	・地域で行われている活動についてインタビューすることでコミュニケーションの能力をつけ、将来の生活に結び付けさせる。				
9	幼児と遊び	・身近な人にインタビューして、自分の幼いころについて振り返る。	・自分の幼いころを知るために、身近な人々にインタビューしながらコミュニケーションスキルの基礎を習得する。				
10	遊びと発達	・幼児の遊びを観察し、おもちゃの役割を知る。	・身近な幼児をビデオなどで観察しながら、自他の理解をし、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。				
11	幼児の体の発達	・幼児の体の発達と運動機能について理解する。	・身近な幼児を観察しながら、自他の理解をし、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。				
12		・幼児の心の発達について理解する。	・身近な幼児を観察しながら、自他の理解をし、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。				
1	幼児の基本的な生活習慣について知る	・生活習慣の自立とその重要性について理解する。	・身近な幼児を観察しながら、自他の理解をし、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。				
2	幼児と周囲のかかわり	・新聞やニュースの問題点から子どもを守ることの重要性について理解する。	・新聞やニュースの問題点を情報収集し、自分や他人について理解し、話し合いにより互いにコミュニケーションを図る。				
3		・自分の個性がわかり、家族の良さを理解し尊重しながらよりよい家族関係について理解する。	・自分の個性がわかり、家族の良さを理解し尊重しながら、積極的にコミュニケーションを図る。				

教科でのキャリア教育 英語科 (1)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	パーティーで英語を話す(Pro. 1)	・互いに自己紹介をしあう。	・自己紹介を言ったり聞いたりする中でお互いを理解しようとする。				
5	アンディー、武史の家へ行く(Pro. 2)	・be動詞を用いて友人や家族を紹介する。	・第三者の紹介をすることで、相手を理解しわかったことを表現する力を身につける。				
6	シンガポールからのお客さん(Pro. 3)	・より詳しい自己紹介をしたり、相手に好きなもの・嫌いなものをインタビューする。	・自分が普段行うことを説明したり、相手が行うことを質問するなかで、お互いのことを理解しようとする。				
10	シアトルでの1日(Pro. 6)	・一般動詞を用いて、より詳しく友人や家族を紹介する。	・第三者の紹介をすることで、相手のことを知ろうとする。				
11	A Day at the Rodeo(Pro. 7)	・過去のことについて、言ったり聞いたりする。	・過去にあったことがらについて言ったり聞いたりするなかで、お互いを知ろうとする。				
12	Clean Energy(Pro. 8)	・所有の表現を用いて、誰のものが言ったり聞いたりする。	・所有の表現を用いて誰のものなのかを明確にしたり、尋ねたりする。				
1	Yuki Talks about Kanzi(Pro. 9)	・できること、できないことについて、言ったり聞いたりする。	・できることやできないことを言ったり聞いたりする中で、お互いを知ろうとする。				
2	A Busy and Happy Morning (Pro. 10)	・今していることについて、言ったり聞いたりする。	・今していることについて言ったり聞いたりするのなかで、お互いを知ろうとする。				

教科でのキャリア教育 英語科 (2)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4	Meet Your New Classmate	・既習の言語材料を用いて、相手の好みなど身近な情報を収集し、簡単に発表する。	・新しいクラスメートとかかわりを持つことで相手を尊重し、積極的に人間関係を築く。				
6	ハンバーガーショップで(Pro.2)	・例文を参考にしてハンバーガーショップでの対話を作成し発表する。	・クラスメートと、ハンバーガーショップの店員と客とのやり取りを演じる。				
9	With Love and With Joy (Pro.4)	・マザーテレサの活動について理解し、彼女の奉仕活動について話し合う。	・マザーテレサの考えや奉仕活動に触れ、自身の将来の夢や職業を思い描ききっかけとする。また、話し合い活動をすることで相手の考えを知り、自分の考えを伝える。				
10	Our Hopes, Our Plans (Pro.6)	・将来就きたい職業とその理由等についてスピーチをする。	・職場体験を控え、様々な職業について知ると同時に、自分の将来の夢や職業を思い描き、自身にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を持つ。				
11	Reach for Your Dream (Pro.7)	・視力を失いながらも中学校教員として働き、4回のパラリンピックに出場し、19個のメダルを獲得した河合純一さんの生き方に触れる。	・障害を乗り越え、活躍する人を知ることで、自分を見つめなおし、よりよい生活や進路を目指していくことの大切さを理解する。				

教科でのキャリア教育 **英語科** (3)年

月	題材(テーマ)	学習内容	備考	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
6	Don't Ask Me That Question ! (Pro.3)	・日本と外国における生活習慣の共通点や相違点について正しく理解する。	・互いの文化の違いを理解し、認め合う姿勢を持つ。自国の文化やその背景にある考え方を理解し、相手に伝えようとする姿勢を身につける。				
7	A Red Ribbon (Pro.4)	・物語の主人公である少女について紹介する英文を書いたり、その感想を書き発表する。原爆の被害について調べ、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える。	・戦争の悲惨さを物語の実話にふれ、恒久的な世界平和を求める気持ちを持つ。				
8	Working as a Volunteer (Pro.5)	・海外ボランティアについて理解し、よりよい人間関係を構築するために必要なことについて考える。また英語の果たす役割について考え、英文にまとめ発表する。	・海外援助協力や、それを支える国内での活動について知る。自分にできるボランティア活動について考える。				
10	Okinawan Music (Pro.6)	・好きな音楽について紹介する英文を作成し、発表する。	・沖縄民謡とジャズやロックが融合していった過程を、沖縄の歴史とともに理解する。				
12	The Olympic Gold Medal (Pro.8)	・アボリジニについての理解を深め、金メダリストのキャシーフリーマンについて紹介する英文を作成し発表する。	・オーストラリアの歴史やアボリジニの伝統文化を理解し、尊重する気持ちを持つ。				